

22/3/10 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： 次に観光文化交流局関係であります。
この場合、当局より発言を求められておりますのでお許しをいたします。

折戸観光文化交流局長： 失礼いたします。

今回、観光文化交流局におきまして、ご審議をお願いいたします令和4年度当初予算および関連議案は、第1号議案令和4年度名古屋市一般会計予算のうち、観光文化交流局関係分と、第7号議案、令和4年度、名古屋市、名古屋城天守閣特別会計予算の2件と、関連議案のうち、観光文化交流局分といたしまして、第39号議案、指定管理者の指定についての1件の合わせて3件でございます。

令和4年度予算編成の方針でございますが、現在も、コロナ禍の影響により、観光関連産業や文化芸術関係者は多大な影響を受けておるところであり、当局では、事業者の支援となるような施策を展開し、感染症対策を適切に行いながら、再び市内の賑わいを取り戻すとともに、都市間競争に打ち勝つため、2023年のG7サミットの積極的な誘致、また国際会議場の整備や、名古屋城天守閣木造復元の推進など、将来に向けて投資を行ってまいりたいと考えております。

よろしくお願ひ申し上げます。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： それでは観光文化交流局関係の第1号議案関係分初め3件を議決一括議題に供し、ご質疑をお許しいたします。

鹿島としあき（減税・名東区）： 予算説明書12ページ名古屋城デジタルサイネージの設置についてお伺いします。

これで2400万円の予算が組まれて、予定額が含まれているわけですが、この内容がちょっとあまりぼやけて僕よくわからないので。2400万円の内訳どんなふうに配分されるんですか？

上土井管理活用課長： デジタルサイネージの設置につきまして、今正門、東門2ヶ所での設置を予定しております、令和4年度予算に2400万円を計上しております。その内訳でございますが、モニターをはめ込む本体が二つで450万円。モニターを含む表示システムの構築に1300万円、コンテンツの作成管理のためのソフトウェアの開発に500万円、その施工費等に150万円、合計で2400万円ということになっております。

鹿島としあき（減税・名東区）： システム1300万円ということで結構しっかりしたものが出てくるんだろうなど。

ディスプレイ、多分タッチパネルでやられると思うんですけども、それによって、来場者の人の、見たいもの知りたいこと、そこには内容が、見どころ案内とか、公園内施設の紹介とかいろいろ書いてあるんですけども、これもうちよっと具体的に設置の趣旨とかそれからどんな大きさなんだろう仕様のものとか、それからこの事業の案内内容をもうちょっと詳しく一覧にさせていただくことを、資料としていただくことができますでしょうか？

管理活用課長： あの今後ですね、仕様等を詰めていく部分もあるんですけども現時点で出せる範囲で、資料として出させていたきたいと思います。

鹿島としあき（減税・名東区）： では資料出てからまた議論を進めたいと思います。これで終わります。

上村みちよ（自民・東区）： ありがとうございます。

同じく名古屋城費に関する事なんですけれども、二之丸庭園の保存整備とありますが、この二之丸庭園とは一体どのような庭園なのかお聞きいたします。

鈴木名古屋城保存整備室長： 二之丸庭園でございますが、こちらの庭園は尾張藩の歴代の藩主が公私に渡って過ごされました二之丸御殿に付随して設けられた庭園でございます。明治の初めに陸軍によってその多くが取り払われてしまうと、こういう事態になったわけでございますけど、現在も一部が残っておりまして、国の名勝に指定されております。

上村みちよ（自民・東区）： 私の選出である東区には徳川園がありますが、徳川園とはどのような位置づけでしょうか。

鈴木保存整備室長： 二之丸庭園でございますけど、今答弁させていただきましたように尾張と奥秋の初代藩主義尚がああ造営をした庭園というふうに考えております。これに対しまして、現在の徳川園でございますが、こちらは2代目の藩主光友公が晩年を過ごされた大曾根下屋敷、こういった場所をその起源としているというふうにお聞きをしております。

上村みちよ（自民・東区）： いずれも尾張徳川家にゆかりの深い使い場所だということがよくわかりました。そこでお尋ねします。

来年度予算 8772 万円の内訳を教えてください。

鈴木保存整備室長： 来年度予算 8772 万円余でございますが、主な内容としましては、庭園にまだ地下に残っております遺構を調べるための発掘調査、それから現存しております池の護岸が傷んでおりますのでこちらの修理。最後に江戸時代に庭園に存在しておりました四畳半のお茶屋でございます余芳の再建に向けた敷地造成を行う予定でございます。

上村みちよ（自民・東区）：もう少し詳しくお聞きしたいので、二之丸庭園のこれまでの事業概要と来年度予算の中身がわかる資料をお願いいたします。

鈴木保存整備室長： それでは経緯と予算の中身がわかるものにつきまして資料として提出させていただきます。

うえぞの晋介（民主・西区）： ありがとうございます。
今のアーバンヘルスツーリズムをまた資料をいただいてから議論を進めたいと思います。一番最初ですね、大河ドラマを活用した観光推進について少し聞かせてください。「どうする家康」なのかなということで、大河ドラマを活用した観光推進とありますが、こういった目的を持って実施をする事業なんでしょうか。

観光に係る名古屋城の活用担当主幹柴田： ありがとうございます。
本市では、名古屋市観光戦略におきまして武将テーマといたしました武将観光を推進するといったことを政策に掲げてございます。これまでも三英傑を含む多くの戦国武将ですとかゆかりの寺社、遺跡等、ストーリー性を持って繋ぐことによりまして観光コンテンツといたしまして磨き上げてまいりました。
折しも三英傑の一人でございます徳川家康を主人公とする大河ドラマ「どうする家康」が令和5年から放映されるという予定でございます。まして本市の歴史的魅力を全国に発信する絶好の機会であるというふうに認識させていただいております。
過去に放送された大河ドラマの舞台といったものは、多くの観光客で賑わってきたこと。本市においても大河ドラマの放送を機にですね、観光プロモーションを実施することで本市における観光消費の拡大と地域経済の活性化といったものに繋げてまいりたいと考えております。

うえぞの晋介（民主・西区）： ありがとうございます。
予算額が2000万円ですが、具体的にどういったことをやっていく予定なのか教えてください。

柴田主幹： ありがとうございます。
市内におけるりやすい海の家といったものの魅力を発信いたしまして誘客を促進するためにインターネットや交通事業者のパンフレットなど広報力の高い媒体といったものを使ってプロモーションを実施してまいりたいと考えております。
それから大河ドラマのキャストを活用いたしましたバスラッピングによる機運醸成ですとか、徳川家康を割りと徳川ゆかりの地といったものを市内において周遊する企画といったも

のを実施いたしまして、ゆかりの地を中心にですね、市内各地を訪問周遊する観光客の増加といったものに繋げてまいりたいと考えております。

うえぞの晋介（民主・西区）： ありがとうございます。

大河ドラマは非常に視聴率も高くですね、その舞台となった地には多くの方が訪れるといった注目度も浴びるのかなというふうに思います。そこでね名古屋市が、どのような戦略でね、この需要をしっかりと取り込んでいくのか、これ一方で愛知県も当然力を入れていくし、一方で岡崎なんかもね、頑張るといような話も聞いている中で、名古屋どうやって頑張るんですか教えてください。

柴田主幹： ありがとうございます。

先日ですけれども、愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会といったものが立ち上がってございます。本市ですとか愛知県も含めまして多くの団体が参加しているという団体でございます。

本組織の趣旨といったものは観光推進協議会といったものは、会員がですね、実施する事業の全体的な調整。県におかれましては統一的な PR プロモーションといった広域での対応、市町村は各地域における観光資源の充実、受け入れ環境の整備といった地域での対応といった役割分担といったものを明確に定めて、その役割を全うすることでオール愛知で大河ドラマを活用していくことというふうにしてございます。

観光推進協会におかれましては、本市はですね、県外から訪れる旅行者の玄関口になると行ったことから、大河ドラマ専用のインフォメーションセンターといったものを名古屋駅のコンコースに設置すると行った予定でございまして、本市が県下における大河ドラマの観光の起点になると行ったことから旅行商品助成事業といったものを活用いただいて旅行商品を通じて本市の武将観光の魅力を伝えていただくと行ったこととすとか、観光客誘致促進事業による宿泊割引といったものをご利用いただきまして、市内で宿泊していただくことで、本市に大河ドラマの放送をきっかけとして訪れる観光客に観光拠点になるだけではなくてですね、当地域の観光消費拡大といったものに寄与してまいりたいと考えてございます。

うえぞの晋介（民主・西区）はい、ありがとうございます。

この辺でちょっと要望だけ最後をつけさせていただきます。愛知県の大河ドラマ「どうする家康」ということで観光推進協議会の趣旨からしてもやはり名古屋市が県内の観光誘客の中心となって地域を牽引していかなければいけないというふうに思います。

一方でコロナ禍において大打撃を受けた市内観光業界をですね、しっかりと盛り上げていくために大河ドラマによって喚起された観光事業を確実に取り込んでいただくこと、また合わせて各政策をですね、単独で展開していくのではなくて組み合わせながら、民間事業者としっかりと連携を進めていただいて、最大の効果を産んでいけるような取り組みをぜひ進めていただきたいと思います。

あと併せてね、地域の牽引役となって観光客でにぎわう名古屋になれば、市民は自らが住む町なんかにより誇りを持って暮らしていく、そういうなんていうんすか都市のブランドとかシビックプライドみたいなのところもですね、しっかり意識していただきながら、名古屋の活気が生み出すような好循環に繋げていただきたいなというふうに思います。

一方で、今この市内16区には様々なゆかりのある戦国武将さんがいる中で、今回は愛知県というふうに言われましたけどぜひですね、名古屋で名古屋を舞台にした、大河をこれからですね誘致できるような、これこそ一過性で終わるんじゃないくて、名古屋をもっともっと取り上げていただくような、そういった継続的な仕組みをですね。ぜひ考えていただきたいなというふうに思います。要望で終わります。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： 委員の皆さんに申し上げます。本来ならば昼食の時間をとるわけでございますが、このまま続行していきますので、ご協力のほどお願いを申し上げます。

江上博之（共産・中川区）： 名古屋城の関係で、まず植栽管理計画の策定が1400万ついております、そのことをお聞きします。

名古屋城がですね、天守の木造化という話もありますが、実は雑木が多いとかですね、どこから見えるんだというような話もあって、全体の周景が大変まずいということは私も思っております。

今までもですね、何か木の伐採とかね、何かやられてきたんじゃないかと思いますが、こういうの植栽計画というような形でなるのは初めてなんででしょうか。

管理活用課長上土井： これまでですね、こういった形で大きな形でですね植栽に関しましては、やってきてはいない。

江上博之（共産・中川区）： そうしましたらね、今回の計画、どのような計画を考えているのか、お示し願いたいと思います。

管理活用課長： 今回策定に着手いたします管理植栽管理計画でございますが、現在場内にはですね、長い時間をかけて育った大きな樹木をはじめ多くの植栽がございます。

そうした植栽は良好な景観を形成しまして、ご来場の皆様に親しんでいただいている一方でですね、大きく育った木の根が以降である石垣に影響を及ぼしている。

また茂った樹木が天守が見えないなど遺構破壊の懸念や、景観の損害が生じております。

そうした場内の植栽につきまして、適切な整備、維持管理などを行うための計画を策定する必要がございますので、まずは令和4年度におきまして、植栽に関する問題点や懸念事項を把握整理するための調査を実施してまいりたいと考えているところでございます。

江上博之（共産・中川区）： 確かに樹木なんですけども、特別史跡の中の構成要素としてね、一つあるんじゃないかなと、樹木は樹木で位置づけがあると思うんですよ。だからただ切りゃいいとか、見えやすくすればいいとか、そういうことではなくて、この前も有識者会議もちょっと出たようですけれども、やはり遺構っていいですか名古屋城としてのね、ふさわしい年代を考えると、あるいはこの前も言った本丸御殿が寛永で他のものがまた違おうと、いいとこどりににはなるかもしれませんが、それはそれで必要なことだと思いますが、そこら辺の時代設定といいますかね、計画のそういうのはどう考えてるんでしょうか。

管理活用課長： まず歴史的な観点でいきますと、お城はですね藩主の政庁、住居であるとともに、いわゆる軍事基地でございますので、植栽に関しましては、観賞用のものもあれば、戦時における建材用のものもあったと考えられます。

また当時はですね、場内に現在よりも多くの建物があつたことから、樹木などは少なかったのではないかと推測はできますが、庭園など特定の場所を除きまして具体的にいつの時代はどうだったといったようなことを設定することは難しいのではないかと考えております。ただしですね、金城温故録などの文献や絵図におきまして、往時の植生状況を知ることができる記述もございますので、そういった文献などの研究検討を行いつつ、できる限り歴史的な観点を取り入れた上で史跡保護や景観改善といった観点に重点を置いた計画として策定してまいりたいと考えているところでございます。

江上博之（共産・中川区）： それで調査費を使ってね、どのような調査をしようとしているのか。

管理活用課長： 調査内容でございますが、過去に実施しました調査によりまして、管理台帳を作成しております。今回調査対象ですね、遺構の保存に影響を及ぼしている植栽、城郭としての歴史的景観を阻害している植栽、安全性が懸念される植栽などといったように、植栽の状況に区分いたしまして、個別に樹種、場所、大きさ、その影響度や緊急度といったことを調査により把握、整理してまいりたいと考えているところでございます。

江上博之（共産・中川区）： ということでいろいろ視点がねあるわけで、今課題としてこういうところの整理の仕方、整理はこういう考え方、そしてこれはこういう問題がある場所はこういうところがありますよというようなものをですね、資料でお願いしたいと思いたすがいかがですか。

管理活用課長： 現況の把握調査自体はですね、来年度やってまいりたいと考えているところでございますので、現時点で名古屋城の方で把握している問題点などを例示として資料として出させていただきますと思います。

江上博之（共産・中川区）： のんびりやってる話じゃないと思うんですね、やっぱりこれ時期を設定してですね、これまでには調査をし、そしてすぐ取り掛かると、こういうことが必要だと思いますがどのような時間設定してるんでしょうか。

管理活用課長： 計画策定のスケジュールということだと思いますが、まず令和4年度に現況の把握調査を実施した上で、植栽状況や管理状況の整理を行いたいと考えております。そして現状を踏まえまして、令和5年度に今後の管理方針や管理方法、また事業計画などを整理し、計画として取りまとめることができればと考えておりますが、計画の策定業務を進めるに当たりましては適宜、有識者会議においてご意見を伺いながら進める必要があると考えております。

従いまして現時点でですね、はっきりとちょっと申し上げることができず、申し訳ありませんが、令和4年度に調査を実施しまして、令和5年度ないしは令和6年度にかけて取りまとめてまいりたいと考えているところでございます。

江上博之（共産・中川区）： 言葉が植栽管理計画となんか堅苦しい言葉ですけども、やっぱり名古屋城全体のね、周景といいますか、そういうものにとって大変重要な施策だと思います。気をつけながらしかし、急ぐべきだということを申し上げて、あとは資料を見て、また聞きたいと思います。

次に金シャチ横丁の第二整備。特にあの博物館構想ですね。

これが3400万は前の展示館と言ったような気がするんですけども、そこら辺の考え方、現時点までの到達点はどうでしょうか。

鈴木整備室長： 金シャチ横丁の第2期整備でございますが、今委員おっしゃった3400万円の予算のうちの2000万円を計上させていただきました、博物館構想の策定を進めて行く所存でございます。

状況としましては、令和2年から3年を目途としてこの構想策定を進めてきておりまして、来年度はいよいよ3年目となりますので、これまでの調査の検討結果などを踏まえまして基本構想として取りまとめたいと考えておるところでございます。

江上博之（共産・中川区）： それで、どのような展示物をですね、ここにやるかと、私自身天守閣の木造化との絡みでですね、天守閣木造化の中にある展示物をですね、ここに移設するというような簡単な話じゃないと思っておりますが、どういう方向で展示物は考えてるんでしょうか。

鈴木室長： 今回取りまとめます基本構想というものが、基本的な方針ですとか、施設配置などを示すものでございます。

今委員がおっしゃられたような展示計画につきましては、まだ少し先であろうかというふうに考えておりますので、現時点ではそういった例えば、天守にある展示物が必要かどうかとそういった検討にはまだ到達していないという状況でございます。

江上博之（共産・中川区）： あの到達していないってことはまだどうなるかわからないというふうに理解しておりますので、十分注視したいと思っておりますし、天守閣の中のものをね、簡単に持ってくるようなことは認められないというふうに思っております。

それでは、天守閣の石垣の問題が、石垣もですね一般会計と特別会計と両方あるやつと

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： すいません。副委員長、関連だそうです。

副委員長 三輪芳裕（公明・天白区）： すいません、金シャチ横丁の関連で、今ちょっと江上委員からもいろいろ質問があったんですけど、こういうこの状況についてはわかったんですけど、来年度予算の内容ということで私もちょっと資料要求をしたいんですが、この設計まで、計画から設計まで計上しておるということなんですが、芝居小屋風多目的施設の来年の予算の中身がわかるものと、目指している方針というのね、これもあわせて資料要求でお願いしたいんですがよろしいでしょうか。

保存整備士長鈴木： 金シャチ横丁の第2期計画の中の芝居小屋の方の計画につきまして、来年度予算の中身がわかるもの、それからあの目指している方針のようなものを資料として提出させていただきます。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： よろしゅうございますかますか。

江上博之（共産・中川区）： 続いて石垣の話で、一般会計の方の石垣で、石垣の保存方針の策定学術分析というのがあります。一定説明がありますけれども、この趣旨をもう少し詳しく、そして金額もお示し願いたいと思います。

調査研究センター副所長村木： この事業でございますけれども、こちらは名古屋城の本質的価値を構成いたします石垣につきまして、それを適切に保存し、またその本質的価値の中身を具体的に明らかにするための学術研究を進めるものでございます。

具体的には三つ大きな事業を考えておまして、一つ目といたしまして、名古屋城全体、これまでは今天守を中心にやっておりますけれども、それだけではなくて名古屋の全体の石垣の保存方針の策定に向けた調査検討、こちらが220万円となっております。

過年度の石垣調査、これまでしてきた調査につきまして、さらに学術的検討を加えるという分析を行うものが250万円。それからそれらの調査研究の結果を市民の方に知らせるシンポジウム等を開催、広報普及事業を70万円と、以上の三つを考えておるところでございます。

江上博之（共産・中川区）： これも石垣の保存と言いましても、時代設定といいますが、そういうものも考えてるんでしょうか。

調査研究センターの村木副所長： こちらにつきまして整備をしていく過程では、時代設定等出てまいるかと思えますけれども、現時点では名古屋全体について現状把握ができていないような状況でございますので、今回策定しようとしております石垣の保存方針で、そういった現状把握をまず優先して進めてまいりたいというふうに考えております。

江上博之（共産・中川区）： その上で、まとめるのにどのぐらい時間かかるのはいつ頃目標にしているのか、いかがですか。

村木センター副所長： 今のところ3年を一つの目途というふうに考えておるところでございます。

江上博之（共産・中川区）： 失礼しました、石垣は大変重要な特別史跡のね、構成要素として重要です、しっかりお願いしたいと思います。
で、特別会計の方のお話になりますけれども、特別会計で天守閣の整備が出されております。中身について簡単に説明をお願いします。

荒井天守閣整備担当主幹： 天守閣整備におきましてまず実施設計費、それと設計監理等支援業務費、あと木材の製材費それと石垣の調査費を上程させていただいております。

江上博之（共産・中川区）： それで木材の製材が大変気になるところですけども、9900万、1億円近い話がこれで毎年毎年というふうになりますか、これの積算根拠といいますが、これはどういうふうな形で挙げ出してるんでしょうか。

荒井天守閣整備担当主幹： すいません。

来年度、約1億円。9998万5000円要求しておりますが、これにつきましては既に契約をしております木材の製材。木工事の契約の中にあります木材保管費それをですね、木材を保管すること自体が今後も途切れることなく継続して行う必要がありますので、その費用をそのまま計上するような形をしておりますので、費用として約1億円になっているところでございます。

江上博之（共産・中川区）： そうすると、今まで例はこの製材の中に保管費なんかも入ったという契約だと思いますけども、これ新たに 9900 万円余別の契約を行うということなんでしょうか。

荒井主幹： はい、すいません。先生おっしゃる通り、今契約しているもう工事とは別に、別途切り離しをして契約をする予定を考えております。

江上博之（共産・中川区）： ようは今 95 億でしたかね契約が、それとは別の契約になると、こういう理解でいいですか。

荒井主幹： 先生おっしゃる通りでございます。

江上博之（共産・中川区）： 事としては理解しましたが、中身は賛成できないということだけは申し上げておきたいと思います。

その上で、今実施設計と、それから石垣調査等ですね、2 億 1400 万余の項目がわかれているとありました。

これについてそれぞれ項目を出していただいて、金額どのぐらい考えているのか。

そういう資料をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

荒井主幹： 実施設計費の内容と内訳、石垣調査等の内容と内訳、資料で提出させていただきたいと思います。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： それはいいですね資料、江上委員承知しましたねはい、岡村委員

岡本やすひろ（民主・緑区）： あの時間も来ておりますので簡単、端的にしたいと思います。木造天守閣のですね昇降に関する新技術公募についていろいろとお聞きをしたいんですが時間もありませんので、障害者団体の理解とか、あの公募したときの候補者がいないことなどは、ちょっと次回にさせていただいて、もう端的にお聞かせください。

公募にかかる費用をですねもし認めた場合、公募を開始からですね、木造天守への導入までの計画スケジュールをちょっと教えていただきたいんですが。

木造天守閣昇降技術開発担当主幹梅田： 失礼いたしました。

公募に関するスケジュールでございますけども、これから公募開始したいと考えてございますが、令和 4 年度早々に公募を開始しましたら、令和 4 年 12 月に昇降技術を選定したいというふうに考えてございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 仕様書と、それからさっきの昇降機のスケジュールの中であなたたちが想定している、例えば、なんていうのかな広告期間っていうのかな？
で、質疑期間だとか、いろいろあると思うんだけど、そこまで鮮明に全て詳細に書いてきていただきたいと思いますんで。

と同時に、昨日本会議でやった、1年間のスケジュール、基礎構造並びに全てのこれを季節じゃなくて、月別でお願いしたい。

アバウトならアバウトでいいですよ。7、8がかかったり、そんな形でください。

と同時に、2028年完成時期までのあのスケジュールをおもう1回見たいと思いますんで。事務方として2028年までという工程表があったと思うんだけど、ちょっとそれも資料でつけといていただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。

梅田主幹： 現在なんですけども、まだ公募の開始前ということでございまして、公募開始しましたら、あの公表するというような部分もございまして、詳細なスケジュールスケジュールというところだと季節ごと位でございましたら、お出してくるかというふうに考えてるところでございまして。

浅井正仁（自民・中川区）： 季節ごと？

梅田主幹： 節目ごとといえますか、公募イベントの中で、あの大きなイベントの月にどれぐらいを考えてるかというところをお出してくるかと考えております。

浅井正仁（自民・中川区）： 例えば告知期間か。
告知期間は何ヶ月とか、まだ決まってないってことかな。

梅田主幹： まだ公募開始する月というものまで公表してございませんので、まだそこまではまだこういうオープンになってないという状況でございまして。

浅井正仁（自民・中川区）： じゃ、とりあえずそれ作ってきてください。
それを見てからまたやらさしていただきますんで。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： 当局に申し上げますができる限りですね、努力をして、資料出していただくと、そういうような姿勢で臨んでいただきますようお願いをいたします。

荒川主幹： 浅井委員からいろいろありました全体計画策定に係る来年度のスケジュールでございまして、四半期程度ごとの区分で出ささせていただきたいと考えております。
またあの、2028年の完成、竣工を考えとったスケジュールにつきましても、以前委員会の方に出させていただいた資料をもう一度提出させていただきたいと思っております。

浅井正仁（自民・中川区）： とりあえず結構でございます。

委員長 渡辺義郎（自民・北区）： それでは皆様のご協力をいただきまして順調に質疑応答ができることができました。

他にないようであります。

資料要求につきまして、当局からですね、何かご質問等等ございますか。

一切ございませんもうね、今まで様々な資料要求がございましたんですが、よろしゅうございますね。

それではないようでありますから、資料の提出時期につきましては3月14日月曜日の質疑応答の日ということで、ご了承願います。

なおご要求のございました資料の調整につきましては、正副委員長にご一任の扱いでよろしいでしょうか。

あんまり声がありませんが、間違いありませんね。

それで左様、取り扱いさせていただきます。

以上で観光文化交流関係を終了いたします。

本日の予定は以上であります。

明日は午前10時から、上下水道局関係の質疑を行います。

これにて本日の委員会を散会いたします。

ご苦労様。